

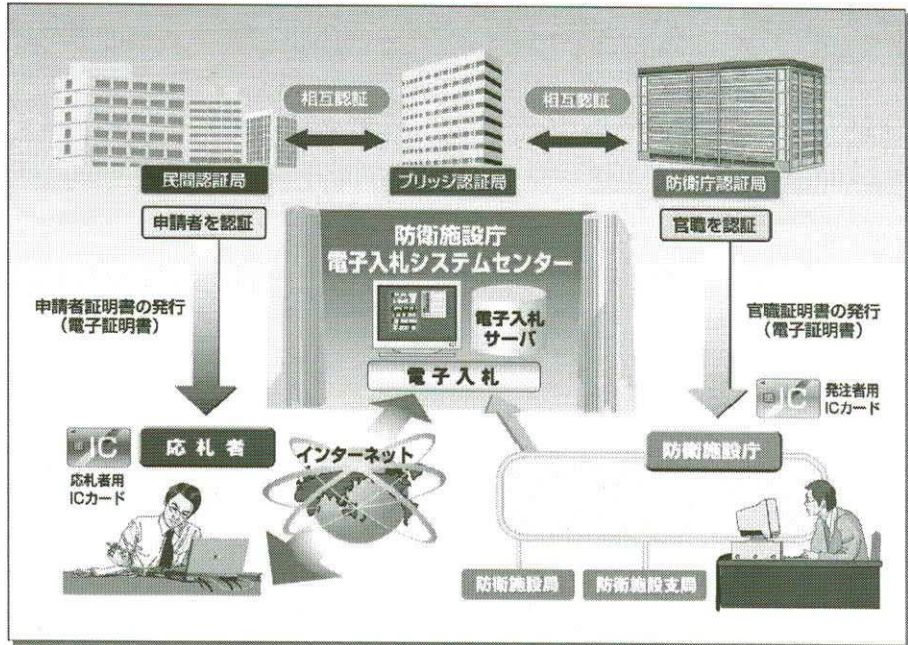
防衛施設庁における電子入札の概要

電子入札導入のメリット

- 電子入札とは、インターネット環境を利用して入札に関する参加資格の確認から、開札、落札などの一連の作業を電子的に行うシステムである。
- 電子入札を推進することで、入札参加者の移動にかかるコストや時間的な拘束の縮減、事務手続きの迅速化が図れるとともに、競争性の向上と透明性の確保が期待される。



電子入札システムの仕組み



■ 民間認証局と電子認証

電子認証とは、インターネット上の利用者が誰であるかを発注者、受注者以外の第三者機関が証明し、安全で確実な電子入札を行うための仕組みである。
 受注者が電子入札を利用するためには、第三者機関である民間認証局から発行されるICカード(電子証明書)が必要になる。

■ ブリッジ認証局

ブリッジ認証局は、発注者側(国)と受注者側の相互認証を行う機関であり、総務省が運営している。